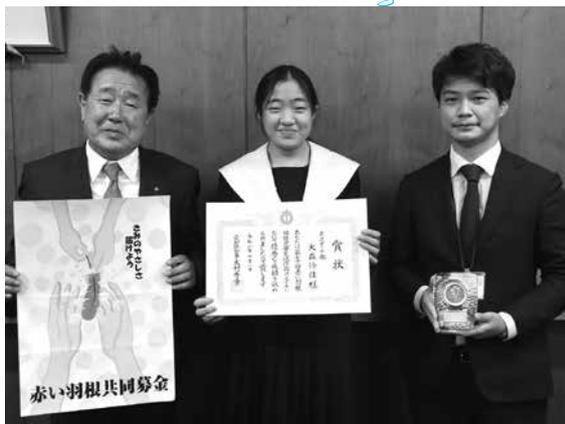


赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール受賞

12/17
木



▲写真左から鈴木町長、大森さん、担任教諭

知事賞を受賞した大口中学校1年生の大森怜佳さんが鈴木町長を表敬訪問しました。

「たくさんの方のやさしさを、この作品を通して届けられたらいいなという想いを込めて描きました」と大森さん。本コンクールは、児童生徒の社会福祉に対する理解を深め、たすけあいの心を育成するために実施されています。

このほか、大口北小学校4年生の松尾灯さん（書道の部・愛知県共同募金会長賞）と大口西小学校4年生の森川真帆さん（ポスターの部・愛知県共同募金会銀賞）が受賞されました。

令和2年度優良PTA文部科学大臣表彰受賞

11/27
金

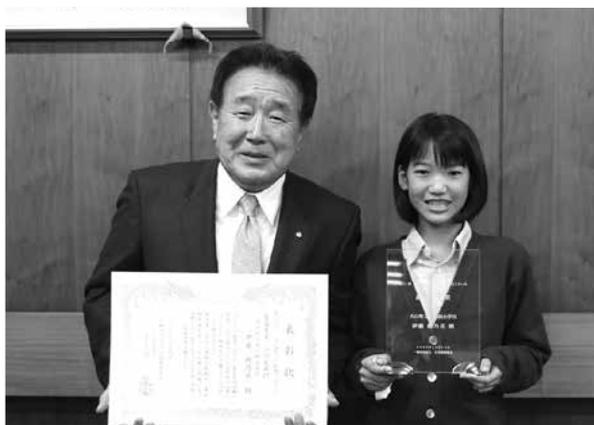


大口町立大口中学校のPTAが、日本PTA全国協議会より表彰されました。

これは、PTA行事等に多くの会員が参加できる組織づくりや、学校、保護者、地域が一体となって生徒の健全育成に貢献していることが認められたものです。

心温まるエピソード「受賞の新聞報道の日」

12/15
火



たのはこの学校の児童ですか」と。「そうです」と答えると、記事に感動したとのことでした。実は、そのおじいさんの息子さんも視覚障害があり、公立小中学校卒業後、高校から盲学校へ通い、教員を目指し、今は40代半ばで、コンピュータを教えているとのこと。伊藤さんが興味をもった記事と同じ状況の息子さん。父親として、伊藤さんの「障がいの有無が関係ない社会をつくるべきだ」という意見に大感激して、学校を訪ねてきたのです。

1人の小学5年生の小さな意見が、新聞を通じて、大きな意見になり、読者に感動を与え、大きな大きな思いやりの言葉になったことに、私も感動し目頭が熱くなりました。去りゆくおじいさんの背中を見つめ、「ありがとうございました」と頭を下げました。

大口西小学校5年、伊藤穂乃花さんが「いっしょに読もう！新聞コンクール」において最優秀賞を受賞したと報道されました。「視覚障害の学生教員試験に挑む」の記事に対する感想文での受賞でした。

その日、午前中に1人のおじいさんが西小学校を訪ねてきました。会ってみると、長い沈黙があり、何を話されるのかと心配しました。でも、涙ぐんでおられたのです。声をつまらせながら、「この記事を書い



宝くじ助成金で整備しました

さつきヶ丘区では、宝くじ助成事業(助自治総合センターコミュニティ助成事業)を活用して、さつきヶ丘防災センターの備品を購入しました。同区では、防災センターを拠点に地域活動を精力的におこなっており、高齢者のふれあいの場や、子育て中の若い女性など、多世代に渡る交流が活発におこなわれています。今後は、購入した卓球台やテント等の備品も活用され、地域活動が益々活性化されると期待されます。



株式会社義津屋代表取締役伊藤彰浩様から、除菌用アルコールをご寄贈いただきました。学校内の感染症対策と教育活動の両立のために、有効に活用させていただきます。



▲松原大口店長、長屋教育長

新型コロナウイルス感染拡大に伴い
寄贈を受けました。心より御礼申し上げます。



▲青木工場長、鈴木町長

株式会社東海理化様からフェイスシールド150個をご寄贈いただきました。保健センターでの健診事業などに活用させていただきます。

トヨタ自動車株式会社サービスパーツ物流部様から足踏み式消毒器2基をご寄贈いただきました。保育園に設置し、有益に活用させていただきます。